

せかい いさん
世界遺産

とみおかせいじょう 富岡製糸場

きぬさんぎょう 絹産業遺産群



ぐんまけん
群馬県



国際連合教育科学
文化機関

富岡製糸場と絹産業遺産群
世界遺産登録年:2014年

世界遺産って なに？

世界遺産は、世界のいろいろな場所にある大切な建物や遺産、自然などをみんなの宝物として守っていくためのものです。世界中に、1000件をこえるたくさんの世界遺産があります。

どうすれば世界遺産になるの？

国が世界遺産に
したいものを
決める。

国が世界遺産に
するようにユネスコに
推薦する。

ユネスコが
世界遺産に登録するか
どうか決める。

世界遺産ってどんなものがあるの？

世界遺産には、お城やお寺、むかしのまちなみ、山や川、絶滅しそうな動物の住む場所などがあります。



エジプトのピラミッド



フランスのモン・サン・ミッシェル

日本にはどんな世界遺産があるの？

日本には、令和2年3月時点で23件の世界遺産があります。姫路城や原爆ドーム、屋久島、白神山地などです。



広島県の原爆ドーム



兵庫県の姫路城

めちしき

【ユネスコ(UNESCO)】

国際連合教育科学文化機関。教育と文化と科学を通じて世界平和に貢献するための組織です。

富岡製糸場と絹産業遺産群は なぜ世界遺産なの？

明治時代、日本は質の良い生糸をたくさんつくろうと考え、絹産業の近代化をめざしました。富岡製糸場は、全国の器械製糸のお手本となるよう、外国の技術を取り入れ、日本に合わせた工夫を加えて建てられました。その製糸技術は常に最先端であり続けました。田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴は、カイコの飼い方や卵の貯え方を工夫して新しい技術を生み出しました。

生糸は、むかしはたくさんつくれず、絹の製品はお金持ちや身分の高い人たちのものとされていました。しかし、日本の技術が世界中に広まるると、一般の人も絹が使えるようになり、いろいろなファッショントの楽しめるようになりました。質の良い生糸をたくさんつくる技術を開発したこと、その技術を世界に広めたことを今に伝えるのが「富岡製糸場と絹産業遺産群」です。



荒船風穴



富岡製糸場



高山社跡



田島弥平旧宅



きぬれきし 絹の歴史を見てみよう

絹の生産は今から5000年くらい前に中国で始まり世界中に広まりました。日本には2000年くらい前に伝わり、江戸時代の中頃から、生糸を作る量が急に増えました。

特に群馬県では、養蚕・製糸が盛んになり、技術も発展しました。江戸時代の終わりに、外国との貿易が始まるときヨーロッパでカイコの病気が広がって

年代	世界	日本	群馬県
紀元前3000年(5000年前)	中国で絹生産始まる		
紀元前後(2000年前)	中国から養蚕・製糸技術が伝わる		
17世紀	イタリア・フランスを中心とする養蚕・製糸地帯が形成		
18世紀		1713 幕府の奨励により本州中部で生糸生産が盛んになる	
19世紀	初頭 フランスで蒸気式器械製糸工場ができる		
	1840年代 ヨーロッパでカイコの病気が流行		
		1859 外国へ生糸の輸出開始	
			1863 田島平が住居兼蚕室を建設「清涼舎」の大成
		1872 富岡製糸場 創業	
			1883 高山長五郎「清温舎」を開発
			1884 畜蚕を教える学校として高山社ができる
			1891 荒船風穴(1号風穴)建設
		1905 日本が世界一の生糸輸出国となる	
			1912~ 富岡製糸場、田島家、高山社、荒船風穴が良いまゆをつくるために連携
20世紀			1927 たかやまじゅく高山社廃校
			1935 荒船風穴営業停止
		1952 自動織糸機の実用化に成功	1952 富岡製糸場、自動織糸機導入
			1960 田島家・高山社この頃まで養蚕
	こうはん後半	日本からの技術移転により、中国やブラジル、インドで生糸生産が盛んになる	こうはん後半 世界に自動織糸機を輸出
			1987 富岡製糸場操業停止

きぬおりもの 絹織物ができるまで

どうやって
きぬおりもの
絹織物ができる
のかな?

ようさん 養蚕



カイコを育て、まゆをつくらせます。



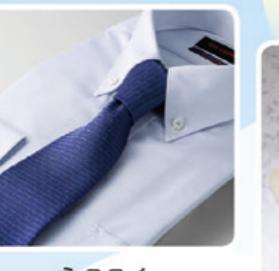
せいし 製糸



※手で生糸をつくることを座織りといいます。

※織糸機が自動になって、生糸を大量につくれるようになりました。

おりもの 織物



いろいろ
ものが絹ででき
ているんだね!



【養蚕は2種類】…生糸をとるための養蚕と、カイコの卵をとるための養蚕の2つの養蚕があります。

Q

とみおかせい し じょう

富岡製糸場ってどんなところ？



A

にほん さいしょ ほんかくてき き かいせい しこうじょう
日本で最初の本格的器械製糸工場

もっとくわしく

とみおかせい し じょう けんがく い さが
富岡製糸場に見学に行って探してみよう。

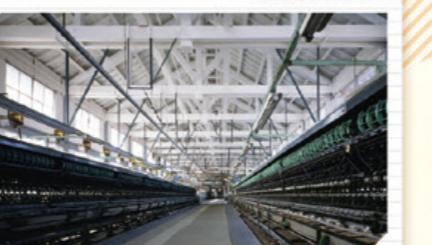
キーストーン

ひがしまゆじょ 東置繭所のアーチの真ん中にある石
まなかいし です。富岡製糸場がつくられた「明治
5年」という文字が刻まれています。



レンガの積み方と印

ながめんみじかめん レンガの長い面と短い面を1つおきに並べる積み方をフランス積みといいます。フランス人に教えてもらいレンガを焼いた日本の職人さんたちがつけた印も残っています。



トラス構造

なごめんみじかめん 織糸所に入ったら上方を見てみよう。太い柱で三角形をつくって屋根を支えています。このトラス構造というつくりによって、真ん中に柱を建てる事なく、広い空間をつくることができました。

とみおかせい し じょう 富岡製糸場は、1872(明治5)年に本格的な器械製糸工場として富岡市につくられました。フランスの蒸気機関や縫糸器などが使われるなど、ヨーロッパの技術を取り入れました。富岡製糸場の大きな工場では300人以上の工女が一度に働くことができました。日本各地から集まった工女は、器械製糸技術を学び、多くはふるさとに帰って、その技術を伝えました。
さいしん そらしき はつめい 最新の縫糸機が発明されると、富岡製糸場がすぐに取り入れ、他の製糸場のお手本になりました。
にほん ざじゅつ ざじゅつ くあたた 日本の技術とヨーロッパの技術を組み合わせて建てられた、縫糸所・西置繭所・東置繭所は国宝になっています。



比べてみよう！

これは、明治時代の富岡製糸場を描いた絵です。となりのページにある今の製糸場と比べてみよう。どんなことに気づくことができるかな？

むかしの製糸場ね
いま どこが違う
かしら



せかいじさん
世界遺産
クイズ①



めいじじだい とみおかせい し じょう 明治時代の富岡製糸場では、工女さんたちの健康のためにある職業の人がいました。どんな人がいたのかな？

- ① 音楽家
- ② 医者
- ③ 美容師
- ④ 手品師

き
めちしき

かんえい もはんこうじょう 【官営模範工場】…
めいじせいふ 明治政府がつくれた民
かん てほん こうじょう 間のお手本となる工場のことです。